



先生のためのよくわかる環境教育入門



# — 6ヶ月連続講座 — — テーマ別講座 — — 環境学習のための自然体験プログラム実習 —

共催：埼玉県立総合教育センター  
後援：埼玉県教育委員会(予定)  
6ヶ月連続講座、テーマ別講座

地球温暖化や自然破壊の問題...。重要ではあるけれど、遠い世界の話のようで、環境問題は漠然としていて児童や生徒にどのように伝えたらよいのか...。そのようなことを感じていませんか？そこで埼玉県自然学習センターでは、みなさんの身近にある環境問題を取り上げ、先生と先生を目指している方を対象に、環境教育の手法を学ぶための三講座「6ヶ月連続講座」・「テーマ別講座」・「環境学習のための自然体験プログラム実習」を開講します。みなさまお誘い合わせの上、ぜひご参加下さい！

## 1. 対象：教員および教員を目指している方

6ヶ月連続講座 全6回 定員15名(全講座を受講可能な方)  
テーマ別講座 全4回 定員15名(1回のみ受講も可)  
環境学習のための自然体験プログラム実習 定員20名(各回)

## 2. 日時：裏面をご覧ください

## 3. 場所：埼玉県自然学習センター講義室ならびに北本自然観察公園

4. 受付：6ヶ月連続講座 2007年6月1日(金)から  
テーマ別講座 2007年6月1日(金)から  
環境学習のための自然体験プログラム実習 受付中  
各講座とも定員になり次第×切

## 5. 内容：6ヶ月連続講座

みなさんの身近にある環境問題を取り上げ、環境教育の手法を学ぶための連続講座です。自然学習センター周辺の自然を教材として取り上げる季節感あふれる講座となります。なお、第2回午後の特別講演会は「公開講座」として広く参加者をつのって実施します(特別講演会のみのご参加の場合：事前申し込み制 受講料1000円)

### テーマ別講座

夏休み期間中に実施する講座です。幅広い環境問題の中から各回テーマを絞って講座を実施します。全講座の受講はもちろん、ご希望の講座だけでも受講可能です。身近な自然や暮らしを教材にした楽しめるプログラムを紹介します。学校ですぐに活用できる内容となっています。

環境学習のための自然体験プログラム実習  
自然のしくみや環境問題についての基本的な事項を踏まえ、野外での自然体験プログラムを実習します。また、総合的な学習の時間や生活科の授業で自然学習センターを活用するためのご案内も行います。

詳細は裏面をご覧ください(内容は一部変更になることがあります)

6. 受講料金：6ヶ月連続講座 5000円 申し込み受理の連絡の後、下記の口座にご入金いただくか、講座初日にお支払いください。

埼玉りそな銀行 大宮支店  
普通預金 5487334  
(財)埼玉県生態系保護協会  
<受講料金 5000円>

テーマ別講座 各回1000円(当日お支払い下さい)

環境学習のための自然体験プログラム実習 無料

7. 申し込み方法：下記の受講申込書に必要事項を記入の上封書またはFAX等でお申し込みください。申込書が足りない場合は、申込書の必要事項を記載のうえお申し込みください。

8. お問い合わせ：埼玉県自然学習センター

〒364-0026 埼玉県北本市荒井5-200 Tel:048-593-2891 Fax:048-590-1039



### 埼玉県自然学習センターをご利用下さい

埼玉県自然学習センターは、遠足、社会科見学、総合学習などで、県内外の多くの小中高等学校にご利用いただいています。また、環境教育に関する相談も受け付けています。ぜひみなさまの学校でもご利用下さい。利用料は無料です。

埼玉県自然学習センター Tel:048-593-2891



郵送の方のみ切り取って下さい

先生のためのよくわかる環境教育入門  
6ヶ月連続講座・テーマ別講座  
環境学習のための自然体験プログラム実習  
受講申込書

ふりがな 氏名		性別	男・女	年齢	歳
学校名・大学名					
連絡先	住所(自宅・職場)〒 電話 Fax e-mail				
受講する講座に印	6ヶ月連続講座 テーマ別講座(受講希望回に印) 第1~4回・第1回・第2回・第3回・第4回 環境学習のための自然体験プログラム実習 第1回・第2回				
講座でとりあげてほしいこと					

ご記入いただいた個人情報は、埼玉県自然学習センタープライバシーポリシーに基づき適切に利用・管理いたします。

# 6ヶ月連続講座

～カリキュラム～

第1回	8月25日 (土)	午前	オリエンテーション 内容：自己紹介、講座概要説明、意見交換、など。
第2回	9月29日 (土)	午前	環境教育とはなにか 講師：池谷奉文 (財団法人 埼玉県生態系保護協会 会長) 内容：持続可能な社会に向けて、ごみ問題、自然を守る意味とは、など。
		午後	特別講演会 講師：齋藤 哲瑯氏 (川村学園女子大学教育学部教授) 内容：子どもたちにとっての野外学習・体験学習について。環境教育の立場から。
第3回	10月27日 (土)	午前	環境教育の教材発見 その1. ゴミ問題と地球温暖化 その解決法 内容：ゴミ、エネルギー、地球温暖化の問題の整理とその解決法。それらを教材としたプログラムの紹介。
		午後	
第4回	11月24日 (土)	午前	環境教育の教材発見 その2. 野生生物 内容：生物多様性の重要性。学校ビオトープの活用方法。野生生物を教材としたプログラムの紹介。
		午後	
第5回	1月26日 (土)	午前	環境教育の教材発見 その3. 水、土、大気、太陽光 内容：水、土、大気、太陽光に関する環境問題の整理と、それらを教材としたプログラムの紹介。
		午後	
第6回	2月23日 (土)	午前 午後	環境教育を活かした授業の展開 ～田中雅文氏を特別講師に迎えて～ 内容：「こんな授業をやりたい！」環境教育の授業内容発表会。課題と評価。講師からの講評など。

午前：10:00～12:00、午後 13:00～15:00

(内容は一部変更になることがあります。お申し込みの際にご確認ください。)

特別講師が担当する以外の回は、埼玉県自然学習センターの自然学習指導員が講師を勤めます。

## 特別講師紹介

齋藤 哲瑯氏(川村学園女子大学教育学部教授)

教育学博士。文部省社会教育官を経て現職。教育社会学、子ども学の専門家で、早くから子どもの体験不足などを指摘。産経新聞「子育て相談塾」の回答者を担当。著書「すぐに役立つ野外教育活動プログラム集」黎明書房、「生涯学習の支援論」学文社など。

田中 雅文氏(日本女子大学人間社会学部教授)

三井情報開発(株)総合研究所、国立教育研究所(現国立教育政策研究所)を経て現職。著書「現代生涯学習の展開」学文社、「社会を創る市民大学」玉川大学出版部、「小学生にボランティア・スピリットを育てる」明治図書出版など。



# テーマ別講座

～日程・内容～

第1回	7月26日 (木)	野生生物の絶滅	
第2回	7月31日 (火)	ゴミとエネルギー	
第3回	8月9日 (木)	自然の中の安全管理	
第4回	8月24日 (金)	地球温暖化	

各回 13:00～16:30

(内容は一部変更になることがあります。お申し込みの際にご確認ください。)

講師は、埼玉県自然学習センターの自然学習指導員が勤めます。

## 環境学習のための自然体験プログラム実習

～日程・内容～

第1回	8月29日 (水)	第1回・第2回共通(季節に応じた内容で実施します) ・自然のしくみや環境問題 ・野外での自然体験プログラム実習 ・センターや公園の活用ガイド(利用例の紹介等)
第2回	12月5日 (水)	

各回 9:30～16:30

(内容は一部変更になることがあります。お申し込みの際にご確認ください。)

講師は、埼玉県自然学習センターの自然学習指導員が勤めます。